森林整備課

0	新規評価箇所検討一覧表	(BBB 評価以上)
		 ₽1
0	新規事業概要	
•	治山事業	⋯ P2
0	公共事業新規評価調書(图	整備系) ···P4

担当課______森林整備課

					施工	.箇所			評価							
番号	- 種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	市町名	町・大字 等	事業概要	位置づけ	必要性・効果	実施環境	判断	総事業費 (百万 円)	•		里安旭束との関連性	新規評価に至った経緯
1	治山	生活関連	山地治山事業	川原地区	小城市	小城町畑田	渓間工 土石流·流木対策工 1個	А	A	A	I	46	公	R7	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(東部地区)に位置づけられている。	山地災害発生の恐れのある箇所を早急に整備する必要 があるため。
2	治山	生活関連	山地治山事業	赤仁田地区	唐津市	厳木町浦川内	渓間工 治山ダムエ1個 流路工10m	В	A	A	I	54	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(西部地区)に位置づけられている。	山地災害発生の恐れのある箇所を早急に整備する必要 があるため。
3	治山	生活関連	山地治山事業	尾部田地区	唐津市	相知町平山上	渓間工 治山ダムエ1個	А	A	A	I	59	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(西部地区)に位置づけられている。	山地災害発生の恐れのある箇所を早急に整備する必要 があるため。
4	治山	生活関連	山地治山事業	白岩地区	唐津市	相知町田頭	渓間工 治山ダム嵩上げ(ス リット)1個	А	A	A	I	51	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(西部地区)に位置づけられている。	山地災害発生の恐れのある箇所を早急に整備する必要 があるため。
5	治山	生活関連	山地治山事業	上大峠地区	武雄市	北方町志久	渓間工 治山ダムエ1個	А	A	A	I	65	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(東部地区)に位置づけられている。	山地災害発生の恐れのある箇所を早急に整備する必要 があるため。

治山事業

農林水産部 森林整備課

治山事業とは...

事業の目的

○ 住宅や道路等の公共施設の上流の森林において、山崩れ・土石 流・地すべり等の山地災害を防止するため、治山施設の設置や間 伐などの森林整備により、健全で災害に強い森林の維持造成を 行う。

〇整備前



〇整備後 (R4武雄市 赤穂山地区)





2



如夕	農林水産部	記入	森林整備課	課長	武田 経孝
部名	農林水産部	責任者	佐賀中部農林事務所	所 長	武藤 正澄

			責任者	佐賀中部農林事務所 所長 武藤 正澄						
		-			<u> </u>		_			
事 業	生活関連	車	事業	名	地区名	7等	│ 一 総事業費	46	46 百万円	
区分	治山事業	_	山地治山	事業	^{かわはら} 川原均	4.4.4.6			44百万円)	
		事	業地			着工	予定年度	完成	完成予定年度	
小城市小城町畑田 地内						令和6年	年度(国補正)	令和	17年度	
	事	業目	的			-	事業内容			
当地区に	は、渓岸侵食が	進行し	、渓流内に不安	定土砂が	渓間工					
堆積してい	いる状況である) _o			土石流	·流木対策	工 1個			
今後のタ	集中豪雨等に。	より土石	「流等が発生す	る恐れが						
あるため浮	延間工を施工し	、災害	の未然防止を図	3 る。						
評価	の視点			ii ii	平価内容				評 価	
(1)位置ぐ	うけ	「新しい	佐賀の森林づくり)ビジョン (:	2023)」の「多面	的機能の多	発揮(3)防災に	つながる		
		森づくり	」及び地域森林記	計画(東部出	地区)に位置づに	けられてい	る。(10)			
		不安定	土石の堆積等を	があり、経	年変化による	災害発生	の恐れがある。	(30)	А	
		当地区	は山地災害危	険区域で	あり、保全人家	家戸数 10) 戸以上(12)	戸)であ	(80)	
		る。(40)							
(2)必要性	±• 効果	費用対	効果は 11.15	である。	(60)					
		過去に	.土砂流出の災害	害履歴がた	ない。 (0)				A	
		渓流の	渓床勾配は10	~30%(2	0%)である。	(10)			(80)	
		被害想	定区域内に公会	共施設(県	道・市道)があ	っる。 (10))		. ,	
(3)実施環	境	地元か	らの要望がある	o _o (60)					A	
		小城市	も事業に向け積	責極的であ	う る。 (40)				(100)	

評 価	AAA	条 件 等
水口 体色	I	
判断	優先的に事業を実施	

○自然環境保全

内 容

当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に 当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。

具体的には、資材等の搬入にあっては、モノレールを使用することで最小限の樹木のみ伐採し、森林の負荷の低減に努める。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、 留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容

・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、 工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内容

・特になし

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内容

現場までの集落内の道路は幅員が狭く、重機の搬入ができないため、通常のコンクリート治山ダムではなく、鋼製の防 護柵を設置することとしている。

コンクリート治山ダムと比べて定期点検や補修等の維持管理費が割増しとなる。

かわはら

治山事業 川原地区(小城市小城町畑田)

施工箇所:小城市役所から北西に約6km付近



かわはら 川原地区(小城市小城町畑田地内)

整備の必要性: 当地区は、渓流内に不安定土石が堆積している状況であり、今後の 集中豪雨等により土石流が発生する恐れがある。このため、渓間工を施工し災害の 未然防止を図る。



つ

1

如夕	農林水産部	記入	森林整備課	課 長	武田 経孝
部 名	農林水産部	責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

——————————————————————————————————————	A STEP	\	事 業 名	地区名	5等		_		
事業	生活関連		t total a total to	あかに た		総事業費		1百万円	
区分	治山事	業	山地治山事業	赤仁田	赤仁田地区		(5)	(51百万円)	
		 事	· 業 地		着工	予定年度	完成	予定年度	
			厳木町 浦川内		令和6年	度(国補正)	令	和8年度	
	事	業目	的		事	事業 内容			
当地区心	 よ、豪雨等によ	より渓岸	侵食が進行し、渓流内に	渓間工					
不安定土石	石が堆積してレ	ハる状況	しである。	治山ダ、	ムエ 1個				
今後のタ	集中豪雨等に	より土石	5流等が発生する恐れが	流路工	10m				
あるため	奚間工を施工し	し、災害	の未然防止を図る。						
		г							
評価	の視点		चे हो । 	平 価 内 容				評価	
(1)位置~	ジ け	「さが	の森林・林業ビジョン 202	:3」の「多面的	り機能の発揮	軍 (3) 防災に	_		
		つなが	る森づくり」及び地域森林	計画(西部地区	十画(西部地区)に位置づけられている。(10)				
		不安定	至土石の堆積等があり、経	年変化による	災害発生の)恐れがある。	(30)	(60)	
		当地区	区は山地災害危険区域であ	かり、保全人家	デ数 10 戸	未満(5戸)	(20)		
(2)必要性	生•効果	費用対	対効果は 9.05 である。	(60)					
		過去に	二土砂流出の災害履歴がな	ない。 (0)				A	
		渓流の)渓床勾配は 10%~30% (2	3%)である。 ((10)			(80)	
		被害想	見定区域内に公共施設(県					(00)	
(c) the [forth	L.								
(3)実施環	境		らの要望がある。(60)	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			→ , ,		
			iも事業に向け協力的であ	り、山地災害症	気険地区の対	地域住民への	周知を	A	
	確認できる。 (20)						(80)		

評価	ВАА	条 件 等
判断	I	
十小的	優先的に事業を実施	

○自然環境保全

内容

当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に 当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。

具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあっては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、 植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、 留意事項を記載。

○生活環境対策

内容

- ・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。
- ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。
- ※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、 工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

・特になし

治山事業 赤仁田地区(唐津市厳木町浦川内地内)

施工箇所: 厳木市民センターから北東に約4.1km付近





1

^{あかに た} 赤仁田地区(唐津市厳木町浦川内地内)

整備の必要性: 当地区は、渓流内に不安定土石が堆積している状況である。 今後の 集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあるため、渓間工を施工し災害の未然防止を図る。

①流末状況荒廃状況 (流路工計画位置)



②治山ダム計画位置



③不安定土石及び倒木体積状況



【事業概要】工期:R6~8 総事業費:54百万円

保全対象: 人家5戸、県道七山厳木線(1.0km) 整備内容: 渓間工(治山ダムエ1個、流路エ10m)

切 夕	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
部名	長 (水)	責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

							
中 光	4.江即市	事 業 名	地区名	7等	₩ ⋣₩⋣		\
事業区分	生活関連 治山事業	山地治山事業	おべた ロ た	rd. 	総事業費)百万円 (五万四)
	10円事業		尾部出 	尾部田地区		(56百万円)	
		事 業 地		着工予定年度 完成			予定年度
	唐津	市 相知町 平山上		令和6年	度(国補正)	令	和8年度
	事 業	目 的		事	業内容		
当地区に	は、豪雨等により:	渓岸侵食が進行し、渓流内に	渓間工				
不安定土石	石が堆積している	状況である。	治山ダ、	ムエ 1個			
今後のタ	集中豪雨等により	土石流等が発生する恐れが					
あるため消	奚間工を施工し、	災害の未然防止を図る。					
			<u> </u>				
評価	評価の視点 評価内容						評 価
	位置づけ 「さがの森林・林業ビジョン 2023」の「多面的機能の発揮(3)防災に						н іш
(1)位置~	ゔけ	さがの森林・林業ビジョン 202	23」の「多面的		軍(3)防災に		ь і іш
(1)位置 <u>〜</u> 		さがの森林・林業ビジョン 202 ながる森づくり」 及び地域森林	_	内機能の発揮			А
(1)位置< 	7		計画(西部地区	り機能の発揮 区)に位置へ	がけられている	。 (10)	
(1)位置<	っ不	ながる森づくり」及び地域森林	計画(西部地図年変化による)	内機能の発揮 区)に位置へ 災害発生の	がけられている 恐れがある。	(30)	A
(1)位置~	つ 不 当	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経	計画(西部地図年変化による)	内機能の発揮 区)に位置へ 災害発生の	がけられている 恐れがある。	(30)	A
	つ 不 当 生·効果 費	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域でる	計画(西部地区年変化による) あり、保全人家 る。 (60)	内機能の発揮 区)に位置へ 災害発生の	がけられている 恐れがある。	(30)	A (80)
	つ 不 当 生·効果 費 過	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域でる 用対効果は 10.19 である	計画 (西部地区 年変化による) あり、保全人家 る。 (60) ない。 (0)	内機能の発揮区)に位置で 災害発生の でア数 10 戸	がけられている 恐れがある。	(30)	A (80)
	つ 不 当 生·効果 費 過 渓	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域でる 用対効果は 10.19 である 去に土砂流出の災害履歴がる	計画 (西部地区 年変化による) あり、保全人家 る。 (60) ない。 (0) ある。(30%)	対機能の発揮 区)に位置で 災害発生の ご戸数 10 戸 (10)	がけられている 恐れがある。	(30)	A (80)
	つ 不 当 費 過 渓 被	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域でる 用対効果は 10.19 である 去に土砂流出の災害履歴がる 流の渓床勾配は10%~30%で	計画 (西部地区 年変化による) あり、保全人家 る。 (60) ない。 (0) ある。(30%)	対機能の発揮 区)に位置で 災害発生の ご戸数 10 戸 (10)	がけられている 恐れがある。	(30)	A (80)
(2)必要性	つ 不 当 費 過 渓 被	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域であ 用対効果は 10.19 である 去に土砂流出の災害履歴がる 流の渓床勾配は10%~30%で 害想定区域内に公共施設(県	計画 (西部地区 年変化による) あり、保全人家 る。 (60) ない。 (0) ある。(30%) ぬ道・市道)があ	が機能の発揮 区)に位置へ 災害発生の ご戸数 10 戸 (10) いる。(10)	がけられているの恐れがある。 「以上(14戸)	(30) (40)	A (80)
(2)必要性	で不当 ・対果 ・効果 過 渓 被 環境 地 唐	ながる森づくり」及び地域森林 安定土石の堆積等があり、経 地区は山地災害危険区域であ 用対効果は 10.19 である 去に土砂流出の災害履歴が 流の渓床勾配は10%~30%で 害想定区域内に公共施設(県 元からの要望がある。(60)	計画 (西部地区 年変化による) あり、保全人家 る。 (60) ない。 (0) ある。(30%) ぬ道・市道)があ	が機能の発揮 区)に位置へ 災害発生の ご戸数 10 戸 (10) いる。(10)	がけられているの恐れがある。 「以上(14戸)	(30) (40)	A (80)

評 価	AAA	条 件 等
判断	I	
判断	優先的に事業を実施	

○自然環境保全

内容

当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に 当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。

具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあっては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、 植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、 留意事項を記載。

○生活環境対策

内容

- ・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。
- ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。
- ※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、 工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

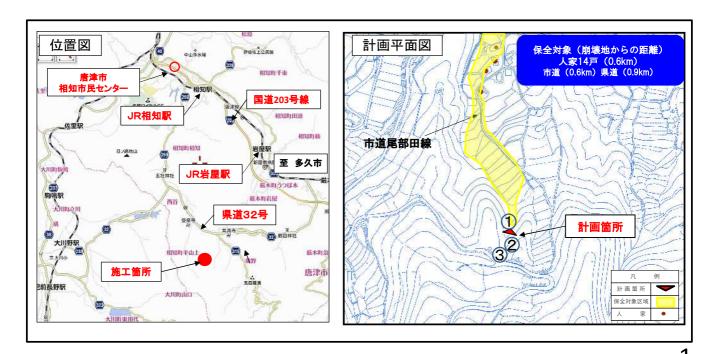
○その他

内 容

・特になし

治山事業 尾部田地区(唐津市相知町平山上地内)

施工箇所: 唐津市相知市民センターから南に約6.6km付近



おべた

尾部田地区(唐津市相知町平山上地内)

整備の必要性: 当地区は、渓流内に不安定土石が堆積している状況である。 今後の 集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあるため、渓間工を施工し災害の未然防止を図る。

① 治山ダム計画位置

② 不安定土石堆積状況

③ 不安定土石堆積状況







【事業概要】工期:R6~8 総事業費:59百万円

保全対象: 人家14戸 、市道尾部田線(0.6km)、県道38号線(0.9km)

整備内容:渓間工(治山ダムエ1個)

立 夕	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
司石	長 (水)	責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

中 ※	小江 即	事 業 名	地区名等		₩ 車 ₩#	⊢ -	€1 ≠ + 		
事業	生活関連	L MANAGE COMP	しらいわ		総事業費		百万円		
区分	治山事業	山地治山事業	白岩地区		(下段工事費)	(48	(48百万円)		
		<u> </u>		着工	完成	予定年度			
	唐津市			令和6年	和8年度				
	事業!		事業内容						
当地区に	 よ、豪雨等により渓	学侵食が進行し、渓流内に	渓間工						
不安定土石	石や倒木が堆積して	いる状況である。	治山ダム	嵩上げ (ス	リット) 1位	個			
今後のタ	集中豪雨等により土	:石流等が発生する恐れが							
あるため消	奚間工を施工し、災	害の未然防止を図る。							
	の知上	=					₹		
-	の視点	· ·	平価内容		P (a) Pl.///		評 価		
(1)位置~		がの森林・林業ビジョン 202							
		つながる森づくり」及び地域森林計画(西部地区)に位置づけられている。(10)							
	不安	不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。 (30)							
	当地	区は山地災害危険区域で	(40)						
(2)必要性	生•効果 費用	対効果は 19.88 である。	(60)						
	過去	に土砂流出の災害履歴があ	ある。(H18.7月	А					
		の渓床勾配は 10%~30%(2	回記は 10%~30%(26%)である。 (10)						
	被害	想定区域内に公共施設(県	道・市道)があ	(90)					
(n) ++++	414x 111.—	2. と の正台222 マ /202							
(3)実施環		からの要望がある。(60)) 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_					
		市も事業に向け協力的であ	り、山地災害危	A					
	確認	できる。 (20)					(80)		

評 価	AAA	条 件 等
判断	I	
判断	優先的に事業を実施	

○自然環境保全

内容

当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に 当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。

具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあっては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、 植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、 留意事項を記載。

○生活環境対策

内容

- ・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。
- ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。
- ※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、 工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内容

・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

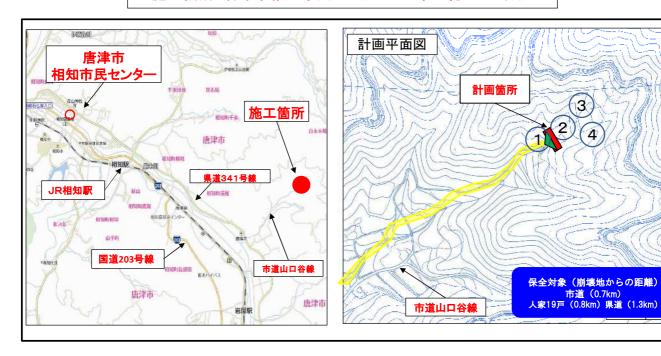
○その他

内 容

・特になし

しら いわ 治山事業 白岩地区(唐津市相知町田頭地内)

施工箇所: 唐津市相知市民センターから東に約3.8km付近



白岩地区(唐津市相知町田頭地内)

整備の必要性: 当地区は、渓流内に不安定土石や倒木が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあるため、渓間工の嵩上げ(スリッ ト)を施工し災害の未然防止を図る。

①流末及び既設治山ダム状況



②治山ダム土砂堆積状況



③倒木堆積状況



4)倒木堆積状況



【事業概要】工期:R6~8 総事業費:51百万円

保全対象: 人家19戸 、市道山口谷線(0.7km)県道341号線(1.3km)

整備内容:渓間工(治山ダム嵩上げ「スリット」1個)

本部名	農林水産部	記 入	森林整備課	課長	武田 経孝
部 名	辰外/小/生司	責任者	杵藤農林事務所	所 長	吉良 孝広

-										
	ルンプロロ	· - -	事 業 名	地区	区名等	ΛΛ 12 λΙΚ 11				
事業区分	生活関連			かみおお	うげ 峠地区	る 総事業費 (下段工事費)		65百万円 (61百万円)		
区分		未	山地治山事業	上大	峠地 丛	(下权工爭員)	(0)			
	事業地 着工予定年度 完成									
	Ī	武雄市	北方町 志久		令和6年	度 (国補正)	令君	令和8年度		
	事	業目	的		事	業内容	į.			
当地区	ま、豪雨等によ	り渓岸及	び渓床の侵食が進行	うし 渓間工						
ている状況	兄である。			治山	ダムエ 1個]				
			流等が発生する恐れ	しが						
あるため	奚間工を施工し	し、災害の	の未然防止を図る。							
評価	の視点			評 価 内	容			評価		
(1) 位置	置づけ	「さがの)森林・林業ビジョン	2023」の「多記	面的機能の発	惲(3)防災に	_			
		つながる	5森づくり」 及び地域	森林計画(東部)	也区)に位置つ	がけられている。	. (10)	Α		
		不安定	上石の堆積等があり	、経年変化によ	る災害発生の	り恐れがある。	(30)	(80)		
		当地区	は山地災害危険区域	丈 であり、保全人	家戸数 10 戸	可以上(11戸)	(40)			
(2) 必要	要性・効果	費用対象	効果は 5.02 である	。 (60)						
		過去に	土砂流出の災害履歴	性がない。(0)				A		
	渓流の渓床勾配は10~30%(13%)である。 (10)									
被害想定区域内に公共施設(市道)がある。(10)										
(3) 宝岩	(3) 実施環境 地元からの要望がある。 (60)									
	ルログベウ兄 -		500安至かめる。 (0) 5事業に向け協力的	•	ミ合除地区の	地域住民への	周知を	A		
				、 はノ ノ 、 PH PE5/ペラ	a / E P/ペチEI <u>と 5</u> V ノ	YUNALLY VI	\H]VH.C	(80)		
確認できる。 (20)										

評 価	AAA	条件等
判断	I	
刊即	優先的に事業を実施	

○自然環境保全

内 容

当該事業の実施により、土砂流出防止機能及び公益的機能の高度発揮が期待できるものであり、工法の決定にあたっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。

具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあっては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、 植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、 対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容

- ・機械の選定に当たっては、排出ガス対策型の建設機械を使用する。
- ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。
- ※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

・ 特になし

かみ おお とうけ

治山事業 上大峠地区(武雄市北方町志久地内)

施工箇所:JR北方駅から北に約2.5km付近



かみおおとうげ

上大峠地区(武雄市北方町志久地内)

整備の必要性: 当地区は、渓流の渓岸及び渓床の侵食が進行している状況であり、今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがある。このため、渓間工(治山ダム)を実施し、災害の未然防止を図る。

①渓岸及び渓床侵食状況



②治山ダム計画位置



【事業概要】工期:R6~8 総事業費:65百万円

保全対象:人家11戸 、市道大峠線(0.3km)

整備内容:渓間工(治山ダム工1個)

担当課 森林整備課

						施工箇所			評価				
番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	市町名	旧市町名	町・大字 等	事業概要	位置づけ	必要性·効果	実施環境	判断	2次評価に至らなかった理由
1	治山	生活関連	山地治山事業	谷口地区	鳥栖市		神辺町	渓間工 治山ダムエ1個	_	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
2	治山	生活関連	山地治山事業	山中地区	基山町		宮浦	渓間工 治山ダムエ1個	ı	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
3	治山	生活関連	山地治山事業	上坂本地区	吉野ヶ里 町		松隈	渓間工 治山ダムエ1個	ı	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
4	治山	生活関連	山地治山事業	深底地区	みやき町		葦原	渓間工 治山ダムエ1個	ı	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
5	治山	生活関連	山地治山事業	太郎丸地区	唐津市	相知町	千束	渓間工 治山ダムエ1個	-	-	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
6	治山	生活関連	山地治山事業	藤原地区	唐津市	相知町	佐里	渓間工 鋼製治山ダム工 (更新) 1個	-	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
7	治山	生活関連	山地治山事業	松原地区	唐津市	相知町	伊岐佐	渓間工 治山ダムエ1個	-	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
8	治山	生活関連	山地治山事業	平野谷地区	唐津市	相知町	牟田部	渓間工 治山ダムエ1個	-	-	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
9	治山	生活関連	山地治山事業	黒尾岳地区	伊万里市	大川内町	甲	渓間工 治山ダムエ1個 流路工20m	-	-	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
10	治山	生活関連	山地治山事業	川原地区	伊万里市	大川町	東田代	渓間工 流路工100m	-	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
11	治山	生活関連	山地治山事業	立石地区	伊万里市	立花町	立石	渓間工 流路工80m	-	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
12	治山	生活関連	山地治山事業	広瀬牧地区	伊万里市	有田町	山谷牧	渓間工 治山ダム 補修工1個	_	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
13	治山	生活関連	山地治山事業	大木牧地区	伊万里市	有田町	広瀬山	渓間工 治山ダムエ1個 流路工80m	_	_	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。
14	治山	生活関連	山地治山事業	内野山地区	嬉野市	嬉野町	下宿	渓間工 治山ダムエ1個	-	-	С	Ш	実施環境において、C判定であるため来年度の新規 事業着手を見送る。